



# 瑞穂中だより

学校だよりを含む様々な情報がホームページから閲覧できます。QRコード・もしくは「雲仙市立瑞穂中学校」で検索を!



No. 1  
令和8年 4月 8日  
雲仙市立瑞穂中学校  
校長 中村 健太郎

学校教育目標 「ふるさとを愛し 心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成」  
2つのキーワード 「自他共栄（じたきょうえい）」・「自己実現（じこじつげん）」

## さあ、令和8年度のスタート! 頑張れ瑞中生!

青々と生い茂った野山の草木は春風に吹かれ、子どもたちの新しいスタートを応援してくれています。4月7日(火)に2年生37名、3年生44名で1学期始業式を執り行いました。ステージの上から2・3年生の様子を見てみると、「上級学年に進級した自覚」が伝わってきて、大変頼もしく感じました。また、生徒会本部役員からは生徒会スローガン「一笑懸命(いっしょうけんめい)～本気で挑んで本気で笑おう～」の横断幕の披露がありました。保護者の皆様、地域の皆様、今年度も瑞穂中学校へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。(下は始業式式辞の抜粋です)

さて、令和7年度は、先日、卒業した先輩方が、個人の目標を達成するために、また、よりよい瑞穂中学校を創るために尽力してくれました。さあ、2・3年生のみなさん、今年はあなたの目標を達成するために、また、一歩進んだみんなの瑞穂中学校を創るために、どんなチャレンジをしていきますか?

新しいチャレンジ、大きな目標を達成する過程では、困難にぶつかることが多々あります。そのようなとき、面白くないと思うことがあるのは当然です。

師匠や仲間には抜群の才能を認められ、日本近代化を推し進めた幕末の風雲児、高杉晋作は、「おもしろき こともなき世を おもしろく」という言葉を残しました。この言葉には、若くして病に倒れた高杉晋作の「面白くない世の中だけれども、自分は世の中が面白くなるように精一杯生きてやっただぞ」という強い思いが込められているように感じます。

その高杉晋作ら勤王の志士を支えた人物の中には、野村望東尼(のむらもとに)という女性の歌人がいました。野村望東尼は高杉晋作の言葉に「すみなすものは 心なりけり」という言葉を加えたとされています。「ものごとを楽しいと思っやれるかどうかは、その人の心がけ次第ですよ」という意味です。

2人の言葉を合わせると、「おもしろき こともなき世を おもしろく すみなすものは 心なりけり」、「世の中が面白くなるように本気で取り組まなければならない。苦労も含め、その取組を楽しいと思えるかどうかは、その人の心持ち次第である」という内容になります。

ぜひ、みなさんも希望に燃えて自分自身を高めていけるよう、時には困難もあるでしょうが、一つの取組を楽しんでいってください。

令和8年度も私からみなさんに伝えているキーワード「自他共栄」、「自己実現」の精神を一層体現してくれることを楽しみにしています。3年生は、最上級生としての大活躍をお願いします。2年生は3年生の姿を見ながら、1年生をよい方向に導いてあげてください。

今日から始まる令和8年度も昨年同様、みなさんが活躍できる舞台がたくさん用意されています。みなさん一人一人が様々な場面で、今年度もまた、すばらしいドラマを作ってくれることを期待して始業式の式辞とします。



左) 抱負を述べる  
平山巳奈さん  
宮崎 遼くん  
中) 生徒会スローガン横断幕の披露  
右) スローガンの確認をする  
島田大央会長